



なないろ

『今、私たちにできること人権尊重!』

(幸せをめざして PART 28)
所長 小野 真

戦争は、大切な家族や、あたり前に感じていた日常さえも奪う残酷なものです。大切な人を亡くした悲しみは、計り知れません。だから、こんな悲しみばかり生み出す戦争などあってはならないのです。

ロシアがウクライナへの軍事侵攻に対して、即時撤退のほか武力行使の即時停止を世界中で求められています。今、アラブ首長国連邦で開かれている国際博覧会では、ウクライナのパピリオンに平和への願いを込めた沢山のメッセージが寄せられているそうです。メッセージには、英語やアラビア語などで「戦争をやめろ」とか「ウクライナ頑張れ」などと書かれていて、メッセージを前に涙ぐむ人の姿もあるとのこと。

また、世界のアスリートや文化人らが、侵攻に抗議し、平和を願うメッセージを、InstagramなどのSNS上で発信しています。ウクライナだけでなく、ロシア出身者も声を上げており、日本人も相次いで投稿。共感が広がっています。

戦争はいけないことだということは、世界中の誰もが理解し願っていることです。しかし、戦争をすることを望む人間がいる限り、戦争はなくならないでしょう。

私自身もそうですが、利用者の皆さんも本当の戦争の怖さを知らないと思います。日本は、被爆国として世界中に戦争は絶対ダメだとこれからも主張していかなければなりません。そして、いつか地球上から戦争を無くすために、今、私たちができることは、何かを考えて生活することが大切なのではないでしょうか。

まず、お互いの命の大切さをもう一度考えてみることにすなわち、「一人一人の人権を尊重すること」だと思います。虹の家での生活の中で、利用者同士のちょっとした言葉や行為で傷つくことがあります。相手を傷つけようと発せられた言葉や行為は、言うまでもなく日々のやりとりでの無意識な言葉や行為によっても起こりうる場合があります。職員も倫理観、社会性、人権感覚、愛情等の素養を身につける努力をしていかなければなりません。

相手のことを考えて優しく接する思いやりの気持ちがあふれている虹の家にすることが今できることではないでしょうか。

最後になりましたが、今年度もあとわずかとなりました。保護者、地域のみなさんやボランティアの方々をはじめ多くの関係機関からのご支援とご協力をいただきながら種々の活動を進めてまいりました。緊急事態宣言発令などにより多くの活動が制限された中で出来る範囲で知恵を出し合って進めたことがむしろ充実した活動に繋がったことを実感しています。なんと言っても最大の成果は、利用者のみなさんがコロナ感染を含めて命にかかわる病気や怪我なく過ごせたことです。

今年度最終号の紙面から失礼ではありますが、皆様方に心より感謝申し上げます。



感謝

お世話になりました。

感謝

この時期になると利用者、そして職員に大なり小なりの環境の変化があります。利用者は、新たな作業場、そして、職員の場合は、転退職です。とても残念ですが、3月31日でお別れしなければならない職員のみなさんがいます。これまで、虹の家の運営に大きく貢献していただいたことに感謝いたします。

- ・吉井 理人さん 退職
- ・高橋 敏晴さん 退職
- ・元井 俊輔さん 退職
- ・倉井 友希さん → ふれ愛しうんじへ
- ・緒形 幸一さん → ハートワーク高浜へ
- ・渡邊 瑞帆さん → すばるワークセンターへ



今年度、コロナ渦の中で

楽しかったこと！
がんばったこと！



《板越正幸さん》

ひさご電材の自動車部品組立ができるようになりました。
北一電気のチューブカットもできます。



《齋藤財さん》

ひさご電材と北一電気の製品作りができるようになりました。

《グループホームのみなさん》

村上市「大観荘」でのクリスマスパーティーがとても楽しかったそうです。露天風呂も最高とのことでした。

《高山美桜さん》

虹の家の1日の生活の流れに慣れました。

《千坂翔樹さん》

新印の袋のシール貼りをがんばることができました。

《五百川和広さん・長谷川善之さん》
いつもの作業を嫌がらずがんばることができました。

